

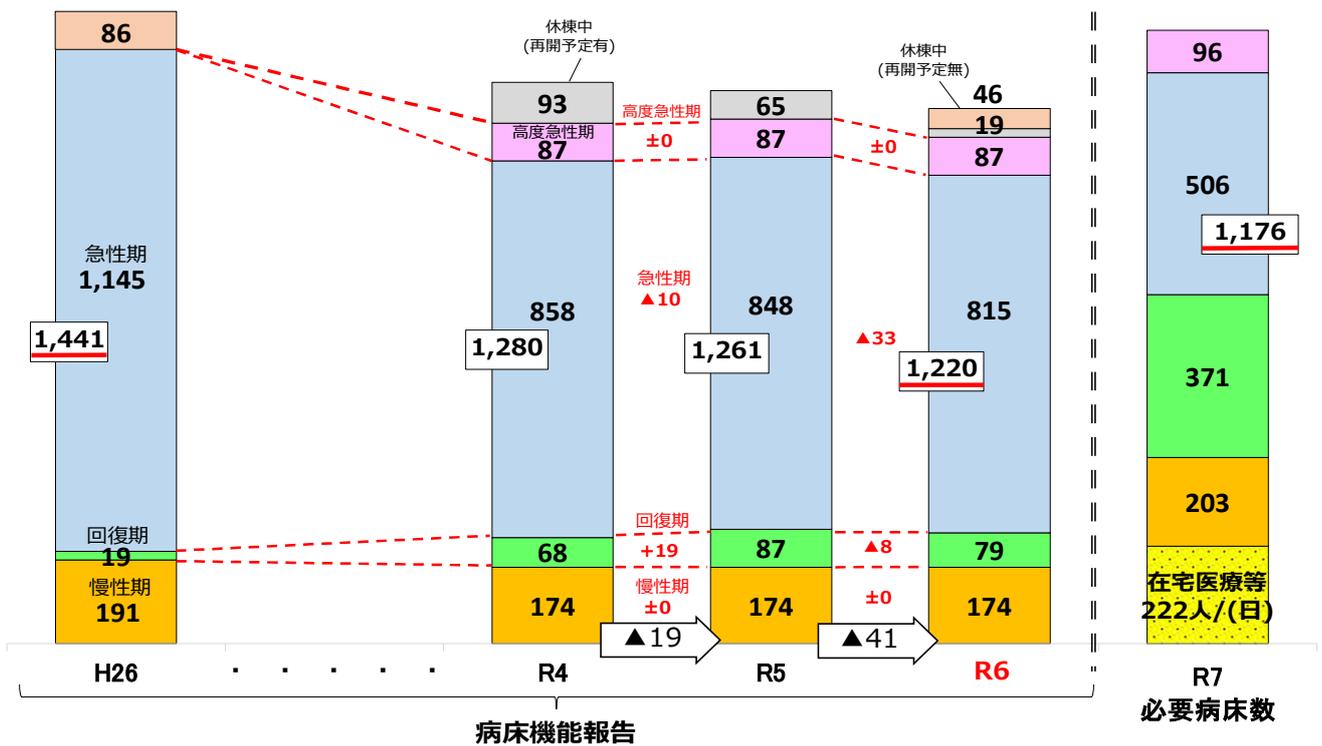
令和6年度 病床機能報告（病床の機能分化・連携の状況）

～ 県の意見 ～

上十三地域の令和6年度病床機能報告の病床数は、全体で1,220床となっており、前年比では41床減床しているものの、地域医療構想で定める令和7年の必要病床数1,176床を44床上回る状況です。

医療機能別では、急性期機能病床が必要病床数506床を309床上回り、回復期機能病床が必要病床数371床を292床下回り、慢性期機能病床が必要病床数203床を29床下回る状況です。

県としては、引き続き、**病床の機能分化・連携を進めていくことが必要**と考えてます。



(単位：床)

	H26 病床機能 報告	R4 病床機能 報告	R5 病床機能 報告	R6 病床機能 報告①	R7 必要病床数 ②	② - ①
高度急性期	0	87	87	87	96	9
急性期	1,145	858	848	815	506	▲309
回復期	19	68	87	79	371	292
慢性期	191	174	174	174	203	29
休棟中 (再開予定有)		93	65	19		▲19
休棟中 (再開予定無)		0	0	46		▲46
無回答	86	0	0	0		0
合計	1,441	1,280	1,261	1,220	1,176	▲44

(R7.6月参考値※ 1,139 + 37)

※医療業務課調べ

2. 前年度報告内容との比較

区分	市町村	施設名称	医療機能区分						前年度報告からの増減	左の内訳	R7.6までの増減	
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中 (再開予定有)	休棟中 (再開予定無)				合計
病院	十和田市	十和田市立中央病院	87	182				46	315		休棟中(再開予定有)▲46 休棟中(再開予定無)+46	▲ 46
	三沢市	三沢市立三沢病院		220					220			▲ 22
	七戸町	公立七戸病院		42	28				70	▲ 40	急性期▲32 回復期▲8	
	野辺地町	公立野辺地病院		120		31			151			
	十和田市	医療法人泰仁会十和田第一病院		60					60			
	十和田市	医療法人赤心会十和田東病院		60					60			▲ 10
	東北町	医療法人社団良風会ちびき病院		53		57			110			
	三沢市	一般財団法人仁和会 三沢中央病院				84			84			
		上十三地域病院 小計		87	737	28	172	0	46	1,070	▲ 40	
診療所	十和田市	さとの整形外科クリニック		8					8			
	十和田市	はし眼科		19					19			
	十和田市	十和田眼科クリニック		3					3			
	十和田市	藤井産婦人科医院		9					9			▲ 9
	三沢市	医療法人博収会得居泌尿器科医院		3					3			
	野辺地町	のへじクリニック				2			2			
	七戸町	工藤医院		19					19			
	六戸町	六戸町国民健康保険診療所					19		19			
	六戸町	医療法人明央会 福田眼科医院		8					8	▲ 1	急性期▲1	
	東北町	医療法人瑞翔会 旭日クリニック			13				13			+ 6
	六ヶ所村	公益社団法人地域医療振興協会 六ヶ所村地域家庭医療センター			19				19			
	野辺地町	戸館内科整形外科医院			19				19			
	十和田市	しんクリニック産婦人科・皮ふ科		9					9			
		上十三地域有床診療所 小計		0	78	51	2	19	0	150	▲ 1	
	上十三地域 合計		87	815	79	174	19	46	1,220	▲ 41		▲ 81

上十三地域における病院の機能分化・連携の方向性

～地域医療構想に基づく各病院の取組～

地域医療構想に掲げる施策の方向

十和田市立中央病院

- ① 急性期機能の充実
- ② 圏域内自治体病院等への支援
- ③ 十和田市での在宅医療(介護施設等を含む)の提供

三沢市立三沢病院

- ① がん化学療法の機能強化
- ② 回復期機能の充実・強化
- ③ 在宅医療の提供

その他の自治体病院

- ① 病床規模の縮小・診療所化
- ② 回復期・慢性期への機能分化
- ③ 十和田市立中央病院との連携体制の構築
- ④ 在宅医療(開土施設等を含む)の提供

民間病院

- ・自治体病院との役割分担と連携の明確化

現 状

十和田市立中央病院(一般269床)

1. 病床稼働率:82.8%、病床利用率:76.4%
2. 救急車受入件数:2,643件
3. 平均在院日数:13.0日
4. 常勤医師数:40人

三沢市立三沢病院(一般220床)

1. 病床稼働率:50.8%、病床利用率:45.8%
2. 救急車受入件数:2,026件
3. 平均在院日数:10.2日
4. 常勤医師数:29人

七戸病院(一般70床)

1. 病床稼働率:45.8%、病床利用率:43.3%
2. 救急車受入件数:427件
3. 平均在院日数:18.0日
4. 常勤医師数:4人

野辺地病院(一般120床、療養31床)

1. 病床稼働率 一般:71.2%、療養:72.1%
病床利用率 一般:67.0%、療養:71.6%
2. 救急車受入件数:561件
3. 平均在院日数(一般):16.9日
4. 常勤医師数:9人

※令和6年度病床機能報告に基づき県が推計

具体的な取組内容

(H28年度地域医療構想調整会議において県から提案した内容)

2次医療圏での地域完結型の医療提供体制の構築

《十和田市立中央病院》

- ア 圏域の中核病院として急性期医療機能の充実と提供を図るとともに、圏域内の自治体病院等への支援を行っていく。
- イ 病床稼働率等を踏まえ病床規模及び機能の見直しを進めるとともに、在宅医療の需要に、関係機関と連携して応えていく。

《三沢市立三沢病院》

- ウ PET-CT等を活用したがん化学療法の機能強化を図る。
- エ 病床稼働率や地域の医療需要を踏まえ、病床規模の見直し及び回復期機能への転換を図る。
- オ 在宅医療の需要に、関係機関と連携して応えていく。

《七戸病院》

- カ 十和田市立中央病院等との連携を進めるとともに、病床稼働率等を踏まえ、病床規模の見直し及び回復期・慢性期機能への転換を図る。
- キ 在宅医療の需要に、関係機関と連携して応えていく。

《野辺地病院》

- ク 圏域内外の医療機関との連携を進めるとともに、病床稼働率等を踏まえ、病床規模の見直し及び回復期・慢性期機能への転換を図る。
- ケ 隣接町村を含めた在宅医療の需要に、関係機関と連携して応えていく。

《その他の自治体立医療機関》

- コ 病床稼働率を踏まえ、病床規模の見直し及び在宅医療を実施していくとともに、十和田市立中央病院、市町村等関係機関と連携して在宅医療の需要に対応する。

《上十三地域の共通課題》

- サ 地域周産期母子医療センターが未整備であり、周産期医療の充実を図るための取組を進める必要がある。
- シ 回復期病床が他地域と比較が少ないことを勘案して、病床機能の見直しを進める必要がある。

- ス **その他の医療機関**は、在宅医療等の需要の増加への対応策について、市町村等関係機関とも連携して取り組んでいく。

- 病床機能報告制度は、医療法に基づき、医療機関には報告が義務付けられており、地域医療構想で推計した必要病床数への収れんの状況及び医療機能ごとの病床数を確認する唯一の手段となっている。
- 調整会議においては、報告のない病床については、将来的に稼働する意向がないものとする。